

# 金融教育だより

第 1 号

平成22年6月11日

福井県立福井南養護学校

高等部金融教育部会発行

本校高等部は昨年度からの2年間、金融教育研究校の指定を受け、生徒一人一人に合わせたお金に関する学習活動を行っています。よりよくお金とかかわっていけるよう、お金に関する学習の取り組みをまとめて「金融教育だより」として発行し、紹介していきたいと考えています。

## 金融教育とは・・・

お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会作りに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。

## 保護者への取り組み 金融教育講座 が行われました！！

5月8日(土)に、金融広報アドバイザーの藤嶋昭二先生をお迎えして金融教育「子どもに身につけたいお金の話」として研修会が開催されました。この日はPTA総会当日ということもあり、40名余の保護者の方々が参加して下さいました。参加して下さいました方からの感想(抜粋)を記載します。



・・・研修会に参加して(感想)・・・

- \* 私の子は重度の障害を持っているので、金銭のことはあまり分かりませんが買い物・ゲームなどでお金がいるということは分かるみたいです。その子にあわせた教育の仕方でお金の大切さを分かって欲しいと思います。
- \* 10才、男。休日の10時になると、決まって150円を持って自販機でジュースを買いに行きます。自分で好きなものを選んで買えるのが嬉しいのか、毎週欠かさず行きます。今のところ労働をしてお金を得るということは本人も親も実践していませんが、少しずつ家の手伝いから始めて、休日のジュース代を稼げるようになっていったらと思います。他の兄弟にも通じることなので、とても参考になりました。
- \* 子どもたちは物に囲まれてあまり大切にしませんし、思い入れもありません。私たち大人の与え方に問題があったのだなあと感じました。おこづかいの使い方について子どもと考えてみたいと思います。欺されたらどうしようという初歩的なお金の話だけでなく、前向きなお金について考えたいと思いました。
- \* 貯金箱を3つに分ける(①勉強のためのお金②楽しみのためのお金③貯金・夢のための貯金：資料①参照)ということも、おこづかい帳を記録していくということも大変参考になりました。ただガマンさせる、また、あんまりおねだりするから買ってやるというより、ずっと目標が明確になってわかりやすく楽しく遣っていけるような気がします。足し算や引き算ができるようになったらぜひ1冊持たせようと思います。
- \* 小遣い帳をつけ始めました。毎月繰越にするつもりでしたが、夢の貯金にまわしたいと思います。
- \* 普段のお金の与え方が子どもの生きる力(働く力)になっていくのだと考えさせられました。「お金を超えた世界」(資料②参照)を子どもに味あわせるのは難しいのですが、少しでも子どもが感じてくれるように親も努力しないといけないと思いました。



## 参考図書の貸し出しをします！！

金融広報アドバイザーの藤嶋先生から紹介があった参考図書の中の4冊が高等部にあります。金融広報委員会からでているパンフレットもあります。貸し出しできますので、お気軽に高等部に連絡をください。また、金融広報委員会が出している小遣い帳(無料)もあり、希望者には差し上げることができますので、あわせてご利用ください。



### 参考図書

- 「イラスト版お金の仕事」西村隆男監修 合同出版
- 「お金のしつけと子どもの自立」子育てグッズ&ライフ研究会編 合同出版
- 「母と子どものマネーじゅく」陣内恭子著 文園社
- 「お金のしつけ」あんびるえつこ PHP文庫



### 高等部生活グループの生徒への取り組み

## ＊＊お仕事をしてお金をもらい好きなお菓子を買おう＊＊

＊内容(生活単元学習で4回実施)

- ①雪かきや床ふきの作業をして、作業量に応じてメダルにシールを貼ってもらう。
- ②メダル1枚ごとに100円もらう。
- ③100円均一のお菓子屋さんで、もらったお金で欲しいものを選び買い物をする。
- ④買ったおやつを食べる。



＊生徒の様子

- ①雪かきと床拭き作業を行った。1回雪を運んだり床を拭いたりしたらシールを1枚貼ってもらうことは全員がすぐに理解できた。
- ②理解の難しい生徒にはメダル1枚に100円硬貨枚を載せ自分がもらえる金額が分かるようにした。生徒によっては金種を混ぜて100円を取らせるようにした。
- ③100円とお菓子1個(ジュース1杯)を交換するということが、ジュースとお菓子が欲しかったらお金を分けて使うと言うことが理解できず、持っているお金を全部渡してしまったり、お菓子を買ってしまった後にジュースが欲しいと気づいたりする生徒が多かった。しかし、回を重ねるとスムーズに買い物できる生徒も出てきた。
- ④「たくさんお菓子が欲しいからメダルをたくさんもらえるよう仕事を頑張ろう」というところまで結びつくのは難しい生徒がほとんどだったが、お菓子に全部使ってしまうジュースが買えないと戸惑ったり、もらったお金が少なくて欲しい物が買えないという経験をする中で、お金がないと欲しいものが買えないという状況を理解し、我慢できる生徒もいた。

### 高等部生活グループの生徒への取り組み

## ＊＊＊自販機でジュースを買おう＊＊＊

＊内容(自立活動で実施)

- ・ジュースを買うのに必要な硬貨をマッチングして準備し、自動販売機で購入する。

＊生徒の様子

- ・箱の中にランダムに入れた硬貨の中から100円玉と10円玉を取り出し、硬貨の画像の上にそのまま置いたり、枠の中に置いたりして準備することができた。
- ・準備した硬貨を財布から取り出し、好みのジュースを選び、硬貨を入れ、ボタンを押して購入することができた。
- ・これまでも何度か自動販売機を利用した経験があるので、スムーズに好きなジュースを購入することができた。写真カードを使ったので硬貨の金種の違いがよく分かったようだ。



＊まとめ

- ・買い物学習を定期的に繰り返し行うことで、商品を購入する際にはそれに応じた金額を支払わなければならないという感覚が身についていくのではないかなと思う。



「金融教育だより第1号」に関するご意見やご感想がありましたら、担任まで提出してください。